



広報

おぐに

私のおぐに^{がく}楽

〜芋煮会〜

ススキが風にそよぐ秋晴れの日、玉川のほとりで芋煮の鍋を囲むのは玉川地区の親子グループ。毎年河原で芋煮会をするという渡邊富美子さん（玉川・左）と長濱千佳さん（片貝・右）が、地元で採れたキノコ入りの芋煮を口にはこぼと、たちまち笑顔がこぼれました。

2006
NO.625

11



今年で52回目を迎えた地区対抗駅伝大会が、10月8日に行われました。

大会には、町内各体育協会9チームから81人の選手が参加、町立病院前をスタートし、今市活性化センターを折り返す、全長20.7km、9区間でタスキをつなぎました。また、12名の選手により6つの区間で区間記録がぬりかえられるなど、熱戦が繰り広げられました。

大会の結果、東南部地区体育協会が優勝し、2位には東部地区、3位には北部地区の各体育協会がそれぞれ入賞しました。



私の子どもの頃は、戦争に負けて世の中全体が絶望に打ちひしがれていた昭和二十年代でしたから、遊び道具などというものはほとんどありませんでした。ですから、遊び道具は自分たちで作らなければなりません。お手玉やおままごとの道具なども手づくりだったのではないのでしょうか。それでも、小国町は自然に恵まれた素晴らしい所でしたから、いつも自然を相手にのびのびと遊んでいたように思

10/9

地域の心をタスキでつなぐ
第52回地区対抗駅伝大会

白い森発

ぐると
情報局

10/15

歴史の街道を偲ぶ
大里峠越え交流

第13回大里峠越え交流が、10月15日に行われ、家族づれなど120人が参加しました。

この企画は、古くから峠を越えて生活文化の往来があった新潟県関川村と小国町の交流をさらに深めようと開催しているものです。

今年は、関川村側の柄目木（がらめき）から峠に入り、小国町側の手の倉口であたたかい芋煮を味わいました。また、「炭焼のだっつあま忠蔵」と称した語り部によって、関川村に伝わる大里峠伝説が紙芝居で紹介され、参加者は秋風がそよぐ会場で歴史の街道を偲んでいました。



今 恵子さん
(埼玉県在住 小国小坂町出身)

シリーズ
私のふるさとへ

10/22

秋晴れのもとで快走

第25回飯豊連峰紅葉ジョギング大会

今年で25回目を迎えた飯豊連峰紅葉ジョギング大会が、10月22日、小玉川地区で開催されました。

この日は、25回目を記念して設けられた、飯豊山荘から小玉川小学校までの6.5kmウォーク&ランなど4つのコースに分かれ、県内外から参加した260人が、それぞれのペースでジョギングを楽しみました。また、20回以上参加しているかたをゴールド会員として認定する制度を新設し、今年度は長井市から参加されているご夫婦が認定を受けました。



10/22

稽古の成果を発揮

第20回小国町剣道大会

第20回小国町剣道大会が、10月22日、東芝セラミックス(株)小国事業所体育館で開催されました。

20回目を記念した今年は、町外から長井剣友会、長井小桜剣道スポ少の2団体も参加し、小学生から一般まで総勢80名を超える剣士たちが全力を尽くした試合を繰り広げました。試合は個人戦で行われ、応援の掛け声が飛ぶ中、白い森の剣士たちも日頃の稽古の成果を発揮し、優秀な成績を修めました。



います。
また、お友達は年齢に関係なく遊んでいました。年上のお姉さんたちと一緒に遊び、友達との接し方など、知らないうちに教わりながら成長していったような気がします。
祖母と一緒に山菜採りに山に入り、蛇が怖いといって泣いたこと、ネブタ(子どもだけで泊まる地域行事)で親から離れて裏の小屋で友達と一緒に一晩過ごしたこと、栗拾いに行ったこと、学校全員が参加した小渡河原での芋煮会、カクベの山でスキーをしたことなど、走馬灯のように頭を駆け巡りますが、今は懐かしい思い出となっています。
私も昨年還暦を迎えました。現在は三人の可愛い孫たちに囲まれて幸せな毎日を暮らしていますが、この孫たちにも小国の自然の素晴らしさや自然を愛する心を教え伝えていきたいと思っています。ふるさとを離れて四十数年、片時も小国町の大自然と、そこに住む人たちの暖かい人情味を忘れたことはありません。

森林セラピー® パイロットプロジェクトを実施

癒やし効果の追求と普及

九月二十九日から十月二日までの三日間、全国の森林セラピー基地を代表してブナの森温身平（ぬくみだいら）、健康の森よごね、国民宿舎飯豊梅花皮荘（かいらぎそう）を会場に、森林セラピーパイロットプロジェクト「モニター体験会」を実施しました。首都圏の女性を中心とするモニター二十名と全国の森林セラピー基地関係者などが参加し、森林の散策のほか、本町の特徴であるマタギとの交流、温泉や地元の食材を使った食事など、豊かなブナの森が持つ癒やし効果を体験しました。今後の基地づくりにおいて重要となる参加者や関係者の声を含めてその様子を紹介します。

「特別で特宧な森林浴効果が得られる魅力づくりは、

森の文化や誇りを

作品化・ブランド化

することから始まる」

多摩美術大学講師で森林セラピープロジェクト小国実行委員会河野透さん



今回のモニター体験会を通して、森林の環境はもろいんですが、人と人とのかわりがいかに大切であるかということを感じました。お客様を受け入れる側のスタッフの心もちによって全てが決まるような気がします。また、今回のモニターにはマタギとの交流がとても好評でした。自分たちでは体験をし得ない異文化であり、自然の恵みや四季の変化と深いつながりを持っているマタギ文化は、精神的な面で心を打つものがあるのだと思います。

一日目

小国到着

（健康の森）

13:00
昼食

アロマトリートメント

そこに住んでいる人が誇りを持てる所であればお客様には来ていただだけません。小国町では、小中高を通して白い森学習という地域学習に取り組んでいます。こうした教育が、世代を越えて自分たちの暮らす地域に対する愛情や誇りを育てるものであると期待をしています。

そして誘客のためには、森林セラピーに関するイベント

をどんどん企画し、常に人を呼ぶことが重要です。また、関心が高く、そこから情報が広がっていくような世代にターゲットを絞ることが効果的です。その際、行政が窓口となりながらも現場のスタッフと同じ立場で取り組み、結果的に民間が主役となれるような仕組みづくりが必要です。

「森の散策」

健康推進・快適性増進・免疫能力増強を促す森林セラピー。この度の体験会では、森林ガイドによる案内で森を散策したほか、森の中では、体をほぐす体操や、町立病院院長をはじめとする医療スタッフが、脈拍測定や問診などを行う、グリーンドックも行われました。

モニターの声

手島 たまたまこの体験会に参加する前に強いストレスを感じることが続いていて、実際に脈拍は九十という数値になっていました。それが、温身平の森に入り、特に「ブナ壺」という湧き水を、クマザサで作っていただいたコップ



体験モニター
手島雅子さん（神奈川県）



冷たい湧き水が心も体もリフレッシュさせてくれる「ブナ壺」

で飲んだとき、一気に身も心も充電されたような気分になりました。まさに感動でした。子どもが小さかったときにはよく家族でキャンプに行ったりしていました。今回は数年ぶりに森に入り、こんなにも心身ともに楽になれるとは思いませんでした。森を散策した後の脈拍は七十二まで下がりました。こんなに素晴らしい効果があつたことは自分自身も驚きです。

17:00 チェックイン
（梅花皮荘）
自律訓練法実践
18:00 マタギの講話
夕食
20:00 ライブ鑑賞
フリータイム
二日目
7:00 呼吸法・ストレッチ
朝食
9:30 森の散策
（温身平）
グリーンドック



体験モニター
吉田英里子さん（東京都）

「デトックス」（体内浄化）

その1 温泉

本町が森林セラピー基地に認定された条件の一つに、豊富に湧き出る大自然の中の温泉があります。壮大な景色とともに、知らず知らずのうちに体にためこんでしまった有害物質や毒素を解毒・排出し、新陳代謝を高めることで、健康な体を取り戻します。

モニターの声

吉田 山の奥にある秘湯と聞いていたので、温泉好きの私としては、とても楽しみにしていました。予めお伺いしていた話では、ゲルマニウムが豊富で、お湯から出た後も体がポカポカしているというものでしたが、本当にその通り



自然を満喫できる温泉

で驚きました。また、皮膚病にも良いとあり、それと関係するのかわかりませんが、肌がすべすべになり、かかのがさがさもきれいになっていました。女性には嬉しい温泉だなと思いました。

泉質以外にも、露天風呂から眺める雄大な山や流れる川の景色は本当に素晴らしいです。自然に抱かれながらお湯につかれたという感じで、視覚的にもすごく癒されました。滞在している間は、仕事を忘れ、本当にリラクセスできました。

「デトックス」(体内浄化)

その2 食事

アケビやワラビなどの森の恵みが、管理栄養士と梅花皮荘の舟山真人料理長、そして厨房スタッフによって、小国のセラピーメニューにアレンジされ、好評をいただきました。梅花皮荘の高野洋一支配人は「ほとんど地元の食材を使ったものでしたが、少し工夫を加えただけで雰囲気が変わるということで勉強になりました」と語られました。

モニターの声

鈴木 お弁当や梅花皮荘での食事には雑穀が入っていましたし、自然食でほかの参加者の皆さんにも好評でした。味もとてもすばらしく、実際に



体験モニター
鈴木佳子さん (長野県)



地元の食材をふんだんに使った食事

食べて驚きました。

また、山菜など地元の食材がたくさん使われていた点も良かったと思います。地元の食材ということは今回だけの特別なものではなく、継続して提供することができると思っていますので、健康食ブームの中、都会から来たかたには特に珍しい食べ物として喜ばれると思います。

昼食

ストレッチ

15:00
座学

(梅花皮荘)

18:00

リラクゼーションタイム

19:00
夕食

フリータイム

三日目

呼吸法・ストレッチ
朝食

森のレクチャー
(健康の森)

11:30
帰路

「アロマテラピー」

植物の香りなどによって心や体のトラブルを回復させてくれるアロマテラピーを取り入れ、免疫能力の増強やリラククス効果を高めようと、アロマトリートメントや自分の好きな香りを作る体験が行われました。

モニターの声

片岡 普段の生活にアロマエステなどを取り入れていたもので、私は気軽にアロマテラピーの体験をすることができましたが、苦手なかもいたようです。自然の中に来て、どうしてアロマテラピーなのかとも思いましたが、自分で調合したオイルの香りが思い出になりました。



体験モニター
片岡志穂さん (東京都)

小国に到着して最初に出されたおしぼりには、さりげない香りが付いていて、私だけでなく他の参加者も感動していましたし、アロマについての初心者でも、あのような心づかいは大変に嬉しいものだと思います。

対象が女性ということであれば、宿泊施設の中にさりげなくアロマが取り入れられていることでリラククス効果も上がるのではないかと感じました。



自分が癒される香りを作り出すアロマテラピーの講習

白い森の案内人 「森林ガイド」

森林の魅力を実感していた
だくためには、森を案内する
ガイドの役割が重要となつて
きます。この度は五名のかた
に森林ガイドをお願いし、モ
ニターを案内していただきま
した。その一人で、山岳ガイ
ドや森林インストラクターと
しても活躍されている吉田岳
さん（大石沢）に、お話を
伺いました。

吉田 温身平は、飯豊山荘か
らすぐにブナ林が広がってい
ますので、初心者にも魅力的
なところですし、すぐそばに
流れる川のせせらぎや、美し
い色も楽しむことができ、ど
こにでも自慢のできる場所



吉田岳さん



森林ガイドの案内で森の中のさまざまな様子を五感で感じる

す。

これまででは、登山の案内や、
植物の学習のような案内をし
てきましたので、森林セラ
ピーという癒しの効果を求め
られたときに、どのような案
内の仕方がふさわしいのか少
し戸惑いがあります。

今後この森林セラピーをど
ういった形で展開していくの
かによって、案内をする回数

なども変わってくるかと思
いますが、現在は仕事を持ちな
がら案内人をしているかたが
ほとんどですので、飛び入り
で要請があっても対応できる
ような体制づくりが求められ
ます。おぐに白い森(株)では「歩
こうぶなの森ガイド」を新設
し、梅花皮荘や川入荘、飯豊
山荘の利用客に有料でガイド
をするサービスをはじめたそ
うですが、新たに森林ガイド
を養成していくことも必要だ
と思います。



森の中では医療スタッフによるグリー
ンドックも実施

地域とともに つくりあげていく 森林セラピー基地

今回の体験会では、地元の
食材を使った料理や、マタギ
との交流、そして温泉など、
本町ならではの特徴を生かし
たセラピーメニューに大変好
評をいただきました。このこ
とは、神秘なまでに美しい自
然、暮らしの中で培われてき
た人びとの真心や文化など、
本町に受け継がれてきた生活
文化が、あらためて評価され
たといえます。

全国六カ所の森林セラピー
基地は、それまで築き上げて
きた歴史や文化によって、そ
れぞれに特徴をもっています。
本町では、豊かな森林や温泉
といった自然資源だけでなく、
地域の文化、郷土食、季節の
節目に行われてきた年中行事
など、小国の人々の暮らしを
支えてきた独特の生活文化を、
地域資源として上手に生かし
ながら、地域とともに魅力あ
る森林セラピー基地づくりに
取り組んでいきます。

魅力ある高校に!

～生徒の自信が引き出される活動～

県立小国高等学校(竹田眞知子校長)では、生徒の活動の場を広げ、自信と希望をもってもらおうと、アメリカへの短期留学や山形大学工学部との共同研究のほか、近隣の大学と連携し、専門分野の先生の指導を受けながら、地域のことについてさらに深く学ぶ「地域文化学」の授業に取り組んでいます。

さらに、高校生が小学生にパソコンの使い方指導する交流授業や、高校の講師が町内の小中高校教諭にパソコンの基礎知識を指導する研修会なども開催しています。

小中高一貫教育の最終段階として中核的な役割を担い、魅力づくりを進める県立小国高等学校の独自の取り組みを、生徒の声で紹介します。

＝アメリカロサンゼルスに短期留学＝

小国高校では、学習してきた国際理解教育の成果を試す場として、アメリカロサンゼルスへの修学旅行や、さらに交流を深めるために短期留学を実施しています。9月23日～10月7日までの15日間、アメリカコロラド州の高校で2名の生徒が異文化を直接感じながら学ぶことができました。

二年生の時の修学旅行では三日間というとても短い期間で、宿泊はホテルでしたので、あまり生活習慣の違いなどを実感することができませんでした。今回は一般家庭で二週間という長い期間ホームステイをすることとなりましたが、英会話の事前学習のおかげで、実際の生活文化に触れることができました。

高校では休み時間が少なく七時間授業で、最初の一週間はとても長く感じましたが、後半の一週間はあっという間に時間が過ぎました。アメリカの高校生はみんな積極的に話しかけてきてくれ、日本の高校生との違いを感じました。この経験を今後に生かしていきたいと思います。



3年 船山 博道さん
(兵庫館)

私は前から留学に興味があったので、今回短期留学に行くことができてとても充実した二週間を過ごすことができました。アメリカという知らない土地に行って英語で生活することに不安もありましたが、ホストファミリーやミッチェル高校の人たちがとても優しくしてくれ、帰る頃にはもっといたいと思うようになつていました。アメリカでの二週間はとても新鮮で、発見の連続でした。実用的な英語やアメリカの文化を学べただけでなく、積極的に自分から行動することが大事だということも学びました。今回の短期留学で学んだことを生かしてこれからもいろんなことに挑戦していきたいです。



3年 高橋さゆみさん
(伊佐領)

独自の取り組みで

Ⅱ 山形大学工学部での研究Ⅱ



機械システム工
学科で自動車に
ついて研究

2年
今 大地さん
(西)

7月31日から8月4日までの5日間、山形大学工学部で研究活動を行ってきました。僕は機械システム工学科で主に自動車の車体構造と車体の空力特性について教わってきました。自動車については、少しは知っていると思っていたのですが、実際には無知に近かったです。難しいことばかりでしたが、大学生のかたにもわかりやすく教えていただきました。実験など、いろんなことができて興味の湧くことばかりでした。短い期間でしたが大学生と同じような生活ができてとても楽しかったし貴重な体験ができてよかったです。



機械システム工
学科で電子回路
について研究

3年
加藤 真治さん
(東原)

私は2年目でしたので前回よりも難しい学習に挑戦しました。内容は1週間で電子回路を造り簡単なロボットを完成させるというものでした。電子部分を固定するために使うハンダゴテを使うのも初めてでしたので、最初はうまくいかず苦労しましたが、使っているうちに慣れてきてコテさばきも上達しました。回路図の見方もわからず大変でしたが、大学生のみなさんに助けていただき1週間で完成させることができました。普通科の高校では体験できないことが多く進路を決めるうえでも役に立ちました。

Ⅱ 大学の教授から学ぶ地域文化学Ⅱ

商店街の現状を体験 「チャレンジショップ」を実施



地域文化学の授業で宮城大学大学院横森豊雄教授より指導を受けている「まちづくり班」が、商店街の現状を体験しながら、まちづくりについて考えてみようと、九月二十日、二十七日の二日間、自分たちで企画、販売するチャレンジショップをアスモセンタースタートで実施しました。生徒たちは、「町内の農産物や特産品の販売にも挑戦してみたい」と意欲を語ってくれました。



1年 小関 奈穂さん
(増岡)

私は地域文化学の授業でどうしたら小国町が活気づくかを考えています。私は町民の交流がもっと深まればそれが町の活性化に結びついていくと考えます。そのためには町内に、老若問わず交流が持て、共通の趣味などが分かち合える場所、店舗が必要だと思いました。売る側としても、客のニーズに応えるには一つの店では足りないと感じたので、シャッターの下りたままの空き店舗に、趣味の店などを多く展開していけば、買い物は町外に出ていたという人もこうした場所でもっと地域の人と交流がもてるようになるし、それが町の活性化に結びついていくと思います。

もし災害が起きたその時は

小国町総合防災訓練を実施

十月八日、小国高校を会場に小国町総合防災訓練を実施しました。

この日は、日本海沖を震源とする震度六強の地震が起き、建物の損壊や火災、死傷者が発生したことを想定して、災害対策本部の設置、応急救護、炊き出し、放水訓練などが行われました。また、今年度初めて、心停止している患者に対して電気ショックを与え正常な状態に戻す器械、AED（自動体外式除細動器）の使用訓練も実施されました。



今年度から実施されたAEDの使用訓練。器械から流れる音声に従い正確な操作を行う。



炊き出し訓練。小国高校バレー部の部員が参加し、手際よくおにぎりにぎる。



地震による火災発生を想定した放水訓練。悪天候の中、各地区の消防団が力強い放水を行う。

柴田彩佳さん 英語弁論大会 全国大会に出場

第五十八回山形県中学校・高等学校英語弁論大会が、九月二十六日、長井市で開催され、中学生スピーチの部で小国中学校三年柴田彩佳さん（小国小坂町）が三位に入賞、十一月二十四日に開催される全国大会の切符を手にししました。

町内の中学校は、小中高一貫教育の特設教科「国際」の授業により、他校よりも週に一時間多く英語の授業が行われていますが、柴田さんは全国大会に向けさらに学習に励んでいます。



町長室から

小国町長 小野精一

過日、十日間程度県内市町村職員と共に、スイス、オーストリア、イタリアの三カ国を視察研修する機会をいただきました。スイスでは首都ベルン市の郊外にある高齢者と障害者の共同生活施設を視察しました。二十年前に法人によつて建てられたもので、ホールやレストランは一般市民も利用でき広く開放されています。また、入所している高齢者のケアは、入所している障害者と地域のボランティアのかたがたで行っており、それぞれに役割を持った入所者は、充実した表情で仕事に取り組んでいます。

当町と比較して、自然条件や歴史、文化も大きく異なりますが、地域の中での健康づくりやいきがいづくりに取り組む本町においても、先進的な事例として、今後の町づくりに活かすことができる有意義な機会を得たと思います。

小椋瑛里さん（増岡）
子どもが大好きなので保育園を選択しました。子どもたちにはあつという間に私に慣れてくれました。



中学生職場体験

町内の中学2年生92人が、10月11日から13日までの3日間、40カ所の事業所で職場体験を実施しました。

この職場体験は、生徒の勤労意識や職業観の育成、進路への意識や意欲の向上など、生き方指導として実施しているもので、企業や地域の皆さんの全面的な支援によって行われました。

日下佑哉さん（舟渡）
農家の仕事に興味がありました。初めは牛に触ることができなかったのに、世話ができるようになりました。



保科俊貴さん（黒沢）
お父さんが以前、車の整備士をしていたので、将来は自分も整備士になりたいと思っています。



高橋牧人さん（沼沢）
自分もよく利用するコンビニで働く人は、どんな仕事をしているのか知りたいと思いました。



齋藤真凜さん（岩井沢）
将来介護士の仕事につきたいです。会話をする時は、言葉をよく聞きとるように心がけました。



今智佳さん（小国小坂町）
将来の夢の一つに物産販売の仕事があります。今回は、自分が作ったおにぎりを販売することもできました。



林 洸也さん（北）
実際に広報の取材に行ってみましたが、写真を撮るタイミングが難しく、思うようにはいきませんでした。



「催し」

平成18年度小国町文化講演会



俳優 八名信夫氏

■日時 11月26日(日)

午後1時30分～3時

■場所 総合センター

■講演のテーマ「他人の子を叱るのも大人の思いやり」

■講師 NHK連続テレビ小説「純情きらり」の徳治郎役で人気の映画俳優 八名信夫氏

■問合先 教育委員会事務局へ

公民館連絡協議会

地域づくり講演会

■日時 11月14日(火)

午後6時30分～8時

■場所 総合センター

■講演のテーマ「笑って、笑って、地域を元気にしよう！」

■講師 新潟落語会会長 水都家艶笑氏

■問合先 教育委員会事務局へ

平成18年度小国町スポーツ講演会

■日時 12月2日(土)

午後1時30分～4時

■場所 総合センター

■講演のテーマ「自分を育てる・子どもを育てる」

■講師

能代工業高校バスケット部前監督・元能代工業高校校長・能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」館長 加藤廣志氏

■申込期限 11月20日(月)

■申込・問合先 総合体育館へ

福田直樹ピアノコンサート

■日時 12月5日(火)

午後6時30分～

■場所 総合センター

■入場料 無料

■問合先 教育委員会事務局へ

成年後見制度に関する研修会

■日時 11月17日(金)

午後7時～8時

■場所 健康管理センター

■内容 講演「高齢者を護るために」～成年後見制度について

■講師 司法書士 舟山健蔵氏

■問合先 地域包括支援センター (☎ 61-1001) へ

大宮ふるさと塾きのこの学校

■日時 11月11日(土)

午前9時30分～

■場所 宮の森会館

■内容

・「きのこ収穫と植菌」講師 小国町森林組合 井上一美氏
・「大宮の森と自然」講師 山形大学名誉教授 塚原初男氏
・「森で遊ぼう」講師 森林インストラクター 舟山功氏
・収穫祭

■申込期限 11月8日(水)

■申込・問合先 大宮ふるさと塾実行委員長小関 (☎ 62-2348)

きのこの学校校長中原 (☎ 62-2332) へ

全日本相撲甚句協会 in小国町発表会

■日時 11月19日(日)

午前9時～正午

■場所 総合センター

■内容 東京、神奈川、茨城、

栃木、秋田、新潟、小国で活動をしている相撲甚句会の発表。やぐら太鼓や相撲踊りの披露もあります。

■問合先 山形おぐに相撲甚句会 会長土屋 (☎ 62-5536) へ

白い森杯柔道大会2006

■日時 11月18日(土)午前9時～

■場所 総合体育館

■内容 団体戦、県選抜対抗戦

■問合先 小国町柔道会事務局 佐々木 (☎ 62-3835) へ

地元選出の県会議員による地域議員協議会

■日時 11月14日(火)午後1時～

■場所 置賜総合支庁西庁舎

■内容 地元議員による地域の課題や施策展開の審議を傍聴

■問合先 県議会事務局政策調査室 (☎ 023-630-2846) へ

募集

町営住宅入居者募集

▼あけぼの高齢者団地 1DK 1戸(4号室)

募集期間

11月6日(月)～10日(金)

対象

・平成17年の世帯所得が月額20万円以下で住宅に困っているかた及び、60歳以上で自立した生活を送ることができるかた
*同居するかたがいる場合は、配偶者または60歳以上の親族であること

入居時期

12月上旬

敷金

家賃の3カ月分

申込・問合先

地域整備課へ

お知らせ

温水プールの休館について

プールの水の入れ替え、清掃及

びプール内の塗装のため、次の期間温水プールの使用ができなくなります。ご理解とご協力をお願いいたします。

休館期間

11月6日(月)～9日(木) (4日間)

問合先

温水プール (☎62-4248) へ

農業所得者の所得税・住民税申告の方法が変わります

平成20年2月～3月に行う平成19年分の所得税・住民税申告から「農業所得簡易計算」が廃止されます。

これまで農業所得簡易計算を適用して計算していたかたも、収支計算により計算することになります。

収支計算には、収入金額や必要経費に係る請求書、領収書などの関係書類、日々の取引の記録(帳簿)が必要となります。

平成19年1月からは、領収書などの書類整理と記帳を行い、円滑に収支計算ができるようお願いいたします。

■問合先 長井税務署 (☎84-1810) または税務出納課へ

国民年金保険料控除について

国民年金保険料は、社会保険料控除として所得から控除されます。

○国民年金保険料は、全額が社会保険料控除(非課税)の対象です。

○年末調整や確定申告で国民年金保険料を申告する場合は、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の添付が必要です。11月上旬に社会保険庁から送付されますので、大切に保管して下さい。

■問合先 社会保険庁控除証明書専用ダイヤル (☎0570-009911) へ

狩猟期間が始まります

山形県の狩猟期間が始まります。

この期間中は、あらかじめ手続きを行った狩猟者に対して、狩猟可能区域における狩猟対象鳥獣の捕獲が認められています。

狩猟者が納める狩猟税は、山形県の環境・鳥獣保護施策に活かされています。期間中の狩猟行為にご理解ください。

山形県の狩猟期間 カモ類(11種)

11月1日～平成19年1月31日

その他(37種)

11月15日～平成19年2月15日

■問合先 置賜総合支庁環境課 (☎0238-2616035) へ

排水設備工事責任技術者登録更新

日本下水道協会山形県支部に登録している責任技術者で、登録の有効期限が平成19年1月31日までのかたは、現在所属している指定工事店所在地の市町村で更新手続きが必要です。

■該当者 登録有効期限が平成19年1月31日までのかた

必要な手続き

①登録更新の申請

②更新講習会の受講

申請期間

11月6日(月)～12月1日(金)

■申込・問合先 地域整備課へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇八月の路上に捨てる 伊藤たかみ
 - ◇風に舞いあがるビニールシート 森 絵都
 - ◇ミーナの行進 小川 洋子
 - ◇歴史上の信じられない「偶然の一致」 歴史ミステリー探訪会
 - ◇10分陶芸 吉田 明
 - ◇子育てにとっても大切な27のヒント 汐見 稔幸
 - ◇手作り楽器の作り方・遊び方アイデア集 谷中 優
 - ◇浜田広介童話集 鬼塚りつ子
 - ◇にっぽんのちずえほん わらべきみか
- ※ほか多数入荷しました。

今月の休館日：毎週月曜日

❖ 飲酒運転は犯罪です! ❖

全国的に飲酒運転による重大事故が発生し、新聞等で大きく取り上げられていますが、依然として後を絶たない状況にあります。この背景には「この程度なら大丈夫」「事故さえ起こさなければ」といった飲酒運転の危険性に対する認識の甘さがあるようです。

事故を起こせば、何の罪も無い人を死傷させるばかりでなく、犯罪として処罰され、本人はもとより家族等にも大きな不幸をもたらすこととなります。くれぐれも飲酒運転をしない、させないようにしましょう。

酒酔い運転→運転免許一発取消

3年以下の懲役(50万円以下の罰金)

■問合せ先 町民課へ

秋季火災予防運動

「消さないで あなたの心の 注意の火」

■運動期間 11月9日(木)～15日(水)

*期間中は、午前7時と午後6時にサイレンを鳴らします。火の元及び灯油の扱いに十分注意してください。

■問合せ先 消防署小国分署(☎62-2154)へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
(有)村上警備保障	2人	交通誘導員	不問	8:00～17:00
(株)コメリ新潟地区本部	20人	販売員	18～35	9:00～18:00ほか
白洋社産業(株)	3人	運転手・事務員	不問	8:00～17:00
(有)小国技研	2人	洗浄工	不問	8:00～17:00
北陸建設サービス(株)新潟支店	1人	事務員	21～40	8:30～17:15
(有)菊	1人	調理補助	不問	10:00～19:00ほか
(有)蔵王ストア	2人	店員	不問	8:45～18:00
翔礼交通(株)	1人	バス運転手	不問	9:00～18:00
ひさご電材(株)小国工場	5人	製造工	不問	8:30～17:30
猪野電気工事(株)	2人	工事作業員	18～35	8:00～17:00
遠藤建設(株)	3人	土木作業員・土木施工管理技士	21～50	8:00～17:00
合資会社山佐佐藤農機店	2人	営業・販売	20～35	8:30～17:30
医療法人社団緑愛会 介護老人保健施設かがやきの丘	4人	介護員・看護師・准看護師	不問	8:30～17:30ほか
(株)船山工務店	2人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
(株)斉藤建設	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
第一ホール小国店南コンテナビル	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(株)井上製作所	7人	マシンオペレーター	18～30	8:30～16:45ほか
(有)加藤印刷	1人	グラフィックデザイナー	～35	8:30～17:00
おくに調剤薬局カインドネス(有)	2人	医療事務員	20～35	8:30～17:30ほか
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
アベプランニング	2人	役務係	不問	8:00～17:00
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	生涯設計デザイナー	25～55	9:00～17:00
大河内産業(有)	7人	事務員オペレーター・プラントオペレーター	不問	8:00～17:00
山和建設(株)	3人	土木施工管理技士・建築施工管理技士	30～50	8:00～17:00
(株)横川建設	4人	重機オペレーター・土木施工管理技士	18～50	8:00～17:00
マンパワー・ジャパン(株)山形支店	1人	事務業務	不問	8:40～17:20
(株)スタッフサービス	5人	機械生産	不問	8:30～17:00
(株)パソナ新潟支店	1人	一般事務	不問	8:30～17:15
(株)アイコンワールド新潟営業所	8人	洗浄工	不問	8:30～16:40ほか
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～18:00
聖翔(株)オープンソーシング 事業部山形営業所	4人	生産技術業務・プログラミング業務	不問	9:00～18:00
(株)技能育成センター郡山校	44人	半導体関連	不問	8:30～16:40ほか
壮運堂	1人	接客・販売	不問	9:00～17:00ほか
酒味庵まつばら	1人	店員	不問	17:00～21:00ほか
(有)白い森よごね物産品直売所	7人	販売員	不問	9:00～18:00ほか
ファミリーマート小国町店	1人	店員	不問	0:00～8:00 間6時間

求人情報

左の表は10月11日現在の新規求人
の内容です。無効になっている場合
もありますので了承ください。この
ほかの求人情報は、ハローワーク長
井(☎84-8609)へ

自衛隊員募集

■種 目

男子2等陸・海・空士

■入隊時期 平成19年3月下旬

■試験期日 12月16日(土)

■試験場所 東根市神町駐屯地

■試験内容

- ・学科試験(国・数・社)
- ・身体検査
- ・口述試験

■資 格

18歳以上27歳未満の義務教育
を終了した男子(高校卒業程
度の学力のあるもの)

■問合せ先 自衛隊米沢地域事
務所(☎0238-23-0011)へ



保健カレンダー

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
12/15	1 歳 6 カ月児健康診査	12:30~13:00	17年 4 月~ 6 月生まれ	健康管理センター *持ち物 母子健康手帳、問診票(4 カ月児、1 歳児健康診査は除く)
12/22	4 カ月児健康診査	13:00~13:15	18年 8 月生まれ	
	1 歳児健康診査		17年12月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 11月7日、14日、21日
 子育て講座「きのこご飯を作る」
 う、28日、12月5日、12日

■時間 午前10時~11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0 歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

11月2日、16日、12月7日
 総合センター

11月9日、12月14日
 おぐに保育園

■時間 午前10時~11時30分

■対象者 0 歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 12月9日(土)
 午前10時~正午

■場所 健康管理センター

■内容 親子でエアロビクスと

■申込み 12月7日(木)

■対象者 おおむね2歳からのお

■問合先 子育て支援センターへ

11月22日(水)小中高一貫教育 公開研究発表会のご案内

下記の日程で授業並びに白い森学習発表会を公開し、町民の皆様に子どもたちの姿とおして研究の成果を報告いたします。どなたでも参観できますので多数のかたのご来校をお待ち申し上げます。

(1) 公開授業Ⅰ	対 象	教科名	教室 等
時間 9:30~10:20 会場 小国中学校	小国中2年2組	「国際・情報」(融合分野)	コンピュータ室
	小国中3年3組	「国際・情報」(国際分野)	3年3組教室
	小国小5年2組	「国際・情報」(国際分野)	集会ホール
	白沼小5年・6年 白沼中1年	「国際・情報」(国際分野) (小中合同学習)	3年1組教室
	小国中3年2組	「社会」(高校教諭と2人で指導)	3年2組教室
(2) 公開授業Ⅱ	対 象	教科名	教室 等
時間 10:40~11:30 会場 小国高等学校	小国高1年1組	「英会話Ⅰ」	1年1組教室
	小国高3年(選択)	「パソコンⅢ」	パソコン室
	小国小2年1組	「国際・情報」(国際分野)	2年集会室
	小国・伊佐領・沖庭・ 玉川・小玉川小4年	「国際・情報」(国際分野) (5校による合同学習)	3年集会室
	北部小2年	「国際・情報」(情報分野)	1年集会室
	叶水小4年	「国際・情報」(融合分野)	音楽室

(3) 白い森学習発表会 時間 12:30~14:00 会場 小国高等学校体育館
 小国小学校 テーマ「優しい町づくりをめざして」
 沖庭小学校 テーマ「沖小歌舞伎を愛する心・ふるさとを愛する心」
 小国中学校 テーマ「小国町の食にこだわって生きている方に学ぼう!」
 小国高等学校 テーマ「横川と荒川の河原の礫について」
 「まちづくり~チャレンジショップの体験を通して~」

■問合先 教育委員会事務局へ

輝けおぐにっ子

今月は、「赤ちゃんのときから、絵本の読み聞かせをしよう」という取り組み「ブックスタート」について、研修会の様子を紹介します。



10月11日健康管理センターでブックスタート研修会を実施
NPO法人ブックスタート
三上絢子さん

「0歳の赤ちゃんが本を読めるの?と皆さん思われるでしょうし、私もそう思っていました。しかし、赤ちゃんに絵本を読んであげるということは、『本を読む』ということではなく、絵本を通して赤ちゃんに触れ合う、会話する、あたたかい言葉の時間を分かち合うということなのです。言葉で会話のできない赤ちゃんはどう接していいかわからないというかたもありますが、絵本のなかの言葉を借りて、自然に接することができます。赤ちゃんが『自分は愛されているんだ』と感じる体験の一つとして大切なことだと思います。

*昨年度から町では、4カ月児健康診査の際に読み聞かせを行う、ブックスタート事業に取り組んでいます。

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

沼	沢	小	池	ひじり 聖	(善典)	朋美	
岩	井	沢	佐	藤	しの 乃	(幸治)	麻結子
大	宮	安	部	ゆい 結	(治樹)	真美	
大	宮	伊	藤	あきと 亮斗	(和昭)	明子	
小	国	町	佐	藤	ミリア	(智仁)	麻里

結婚おめでとございます。

(叶水 渡部 寿郎
酒田 市 渡部 春香)

おくやみ申し上げます。

岩	井	沢	伊	藤	マサエ	(90)
町		原	松	本	正 實	(86)
小	国	町	澤	出	美恵子	(84)
古	田	佐	藤		根	(89)
増	岡	今	治	子		(76)
岩	井	沢	丹	重	雄	(96)
緑	町	佐	藤	とみ子		(79)
岩	井	沢	石	山	文 敏	(55)
東	原	櫻	井	初	美	(64)

人口のうごき

人 口	男	…	4,715人(-6)
	女	…	4,986人(+1)
	計	…	9,701人(-5)
世帯数			3,281世帯(-4)
			平成18年9月30日

編集後記

色とりどりの景色に見とれながら、取材で小玉川に向かうと「最近気温があまり下がらないせいか、色がよくない」という声を耳にしました。やはり温暖化の影響なのでしょう。このままではこの紅葉も見ることができなくなる日があるのでは、と不安を感じながら帰路につきました。自然を守るなど大きなことは言えませんが、いつの間にか姿を消していく風景を、写真で見ることができなくなるとすればあまりにも寂しいことです。

(舟山)